

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	GRAALL-2005/R
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	B-ALL
保険適応外の使用	■有 □無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALL-024
登録日・更新日	2019年6月25日登録 2023年6月27日更新
削除日	
出典	N Engl J Med 2016;375:1044-1053
入力者	伊勢崎竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

FIRST CONSOLIDATION PHASE:Block 1

	薬剤名:一般名 (薬剤名・商品名)	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	シタラビン (シタラビン点滴静注液) 生理食塩液	20mg, 40mg, 400mg, 1000mg 500mL	2,000 mg/m ² /12h	□IV ■DIV ■CVポート 口側管 □その他()	2時間	Day 1,2
No.3	デキサメタゾン (デカドロン錠)	4mg	10 mg/body/12h	□IV □DIV □CVポート 口側管 ■その他(内服)	2回/日	Day 1,2
No.2	L-アスパラギナーゼ (ロイナーゼ注射用) 生理食塩液	5000IU 500mL	10,000 IU/m ²	□IV ■DIV ■CVポート 口側管 □その他()	1時間	Day 3

FIRST CONSOLIDATION PHASE:Block 2

	薬剤名:一般名 (薬剤名・商品名)	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ビンクリスチン (オントコピン注射用) 生理食塩液	1mg 100mL	2 mg/body	□IV ■DIV ■CVポート 口側管 □その他()	10分	Day 15
No.2	メトレキサート (メソトリケート点滴静注液) 生理食塩液	200mg, 1000mg 500mL	3,000 mg/m ³	□IV □DIV ■CVポート 口側管 □その他()	24時間	Day 15
No.3	L-アスパラギナーゼ (ロイナーゼ注射用) 生理食塩液	5000IU 500mL	10,000 IU/m ²	□IV ■DIV ■CVポート 口側管 □その他()	1時間	Day 16
No.4	メルカブトブリニ水和物 (ロイケン散)	100mg/g	60 mg/m ³	□IV □DIV □CVポート 口側管 ■その他(内服)	1回/日	Day 15 ~ 21

FIRST CONSOLIDATION PHASE:Block 3

	薬剤名:一般名 (薬剤名・商品名)	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	メトレキサート (注射用メトレキサート) 生理食塩液	5mg, 50mg 100mL	25 mg/m ³	□IV ■DIV ■CVポート 口側管 □その他()	10分	Day 29
No.2	シクロホスファミド水和物 (注射用エンドキサン) 生理食塩液	100mg, 500mg 500mL	500 mg/m ³	□IV ■DIV ■CVポート 口側管 □その他()	3時間	Day 29,30
No.3	エトボシド (エトボシド点滴静注液) 生理食塩液	100mg 500mL	75 mg/m ³	□IV ■DIV ■CVポート 口側管 □その他()	1時間	Day 29,30

1コースの期間	42日
投与間隔の短縮規定	□短縮可能() • ■短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【開始基準】 ・WBC > 3000/μL ・ALT < 100U/mL ・Cr >= 60ml/min</p> <p>【減量基準】 ◆Block 2 クレアチニンクリアランス 61 ~ 80 mL/min 75% dose 51 ~ 60 mL/min 70% dose 30 ~ 50 mL/min 30 ~ 50% dose 30 mL/min < Cr : 投与不可</p> <p>・肝機能 ・AST > 100IU/L または ALT > 150IU/L : 75% dose ・3.0 mg/dL < T-Bil < 5.0 mg/dL : 75% dose T-Bil \geq 5 mg/dL : 投与不可 ・尿pH < 8.0 : 投与不可 ・尿量 < 100mL/h : 投与不可</p>
前投薬	5-HT3受容体拮抗薬 + デキサメタゾン

その他の注意事項	<p>Block 1 ・L-アスパラギナーゼ投与期間中は、定期的に膝炎マーカー、AT-III、フィブリノーゲンの検査を実施する。 ・眼症状の予防のために、副腎皮質ホルモン点眼剤(フルオロメトロン点眼液0.1%、ベタメタゾン点眼液0.1%等)を使用する。</p> <p>Block 2 【ハイドレーション】 MTX投与開始12時間以上前から、3L/day以上の補液が必要</p> <p>【尿アルカリ化】 炭酸水素ナトリウム(メイロン静注8.4%) 20~40mEq/500mL</p> <p>【ロイコボリンレスキュー】 ・ロイコボリンレスキューはMTX開始後24時間から開始する。 ・MTXの血中濃度測定は投与開始後、(24h), 48h, 72hで実施する。 【高用量メトレキサート療法における標準的なレスキューについて】を参照</p> <p>【MTX投与開始から排泄確認できるまで併用してはいけない薬剤】 ST合剤:葉酸代謝阻害作用が協力的に作用 NSAIDs、アスピリント:腎排泄遅延 ペニシリン系抗生素剤、プロペネシド:腎排泄競合阻害 シプロフロキサン:腎排泄遅延 PPI、テトラサイクリン、フェニトイン、バルビツール酸:血中濃度上昇 プロセミド、サイアザイド系利尿剤:尿を酸性化</p>
----------	---

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	寺尾 俊紀